



ご提案資料
【event NEXT 総合】

展示会やイベントに新たな手法を導入して、 感染症対策を積極的に強化するには？



こんなお悩みありませんか？

安心して展示会やイベントに来てもらいたい



展示会ブースで安全への取り組みを強調したい

感染症対策に配慮したイベントを構築したい

ご提案です！

感染症対策のさまざまな技術やノウハウを組み合わせ、 展示会やイベントの安心感を高めませんか？



きめ細やかで徹底した感染症対策こそが
お客様の来場を促す重要な安心材料に

新型コロナウイルス感染症によって、大規模集客をと
もなうイベントは制限を余儀なくされています。しか
し、展示会は新たな顧客と出会う重要な機会です。出
展が可能な場合は、来場者が安心できる万全の体制を
整える必要があります。



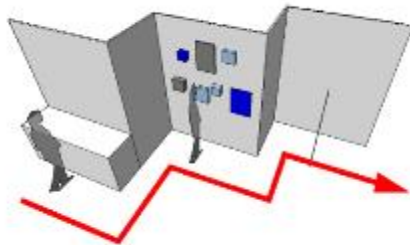
さまざまな場面で必要な感染症対策を
トータルに提案できる展示制作会社の選定を

展示会ブースは、受付やディスプレイ、ステージ、商
談スペースなど複数の機能で構成されており、その一
つひとつで感染症対策が必要です。さまざまな技術を
組み合わせながら、安全性を高めることが御社の信頼
を高めるのです。展示会出展では、豊富な経験と安全
対策のさまざまなノウハウがある制作会社を選定する
ことが重要です。

フジヤの“いちおし”サービス

あらゆる角度から感染症対策を見直し、
適確な手法で安全性を高める展示会ブースを構築
「event NEXT 総合」

蛇腹状に配置した展示



折り返す構造で展示スペースの空間の区分けと
順番を可視化し、展示導線を構成。

展示会ブースの設計から運営まで、
総合的な感染症対策をワンストップで提供

長年、展示会の空間づくりを手がけてきたフジヤでは、感染症対策を強化したブースづくりや運営ノウハウを構築しています。検温や消毒、マスクなど基本の徹底に加えて、展示会ブースの導線設計、非接触展示ディスプレイの採用、そしてオンラインを活用した資料請求など、総合的な対応策を「event NEXT」としてワンストップで提供しています。

モニターを介したリモート商談






通話形式で担当者と別の場所からの商談や遠隔からの
商談が可能。端末入力によりデータ管理が容易。

リモート機能を活用して、安心して商談で
きるコミュニケーション空間を実現

展示会ブースでは商談スペースが重要な構成エリアです。「event NEXT」では時代のニーズに応じた展示会ブースのニューノーマルを企画。リモート用の個室ブースや間隔を空けたラウンジなど、来場者が安心して出展社と商談できる新たな発想のコミュニケーション空間を実現しています。



POINT

- 
展示会の設計から運営までの総合対策をワンストップで提供します！
- 
リモート機能を備えた展示会ブースのニューノーマルを実現します！
- 
豊富で適確な感染防止メニューで安全性に配慮した展示会を構築します！

導入までの流れ



event NEXT の考え方

リアル空間での展示会は参加者にとっては情報収集・体感・体験の場として、出展者にとっては、企業アピール・見込み客獲得の場として今後も必要なコンテンツです。

下記の項目において対策を講じ、催事スタッフと参加者の安全を確保します。

入場管理

ゾーニング

製品展示手法

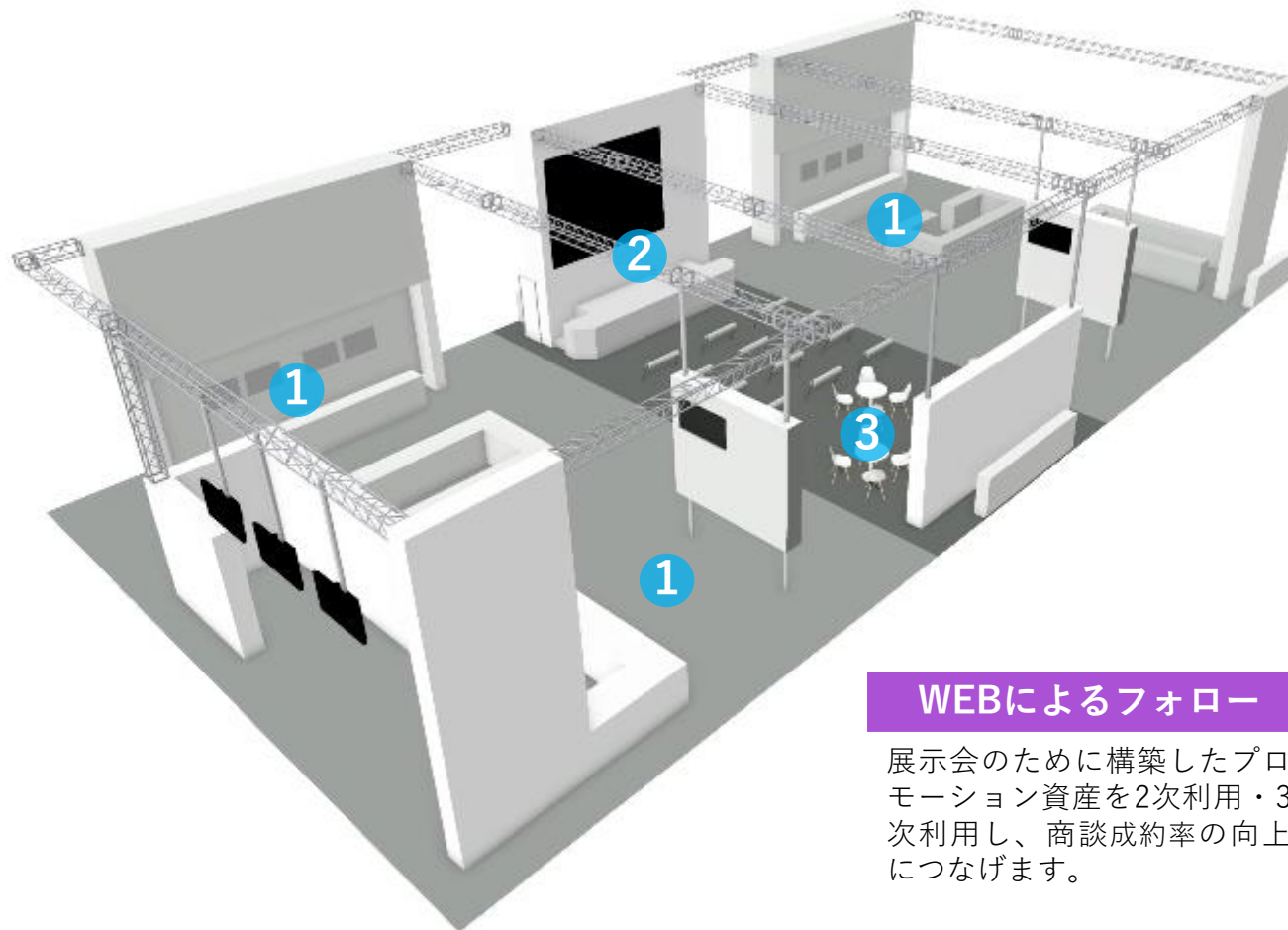
プレゼン
テーション

商談

ブース運営
手法

株式会社フジヤは多くの展示会、イベント実績を活かしこれからのスタンダードとなる展示空間をご提案します。

ブース構成イメージ



①製品展示

ソーシャルディスタンスを保ち、体感できる展示を展開します。造作による飛沫防止を行い展示数を確保します。

②プレゼンテーション

飛沫防止や、非接触型などの対策のほか来場者間の密集にも配慮します。

③商談コーナー

三密にならない商談として、造作的な工夫やオンラインでの対応などを行います。

誘引と入場者管理

ブース内の人数管理等を行いソーシャルディスタンスを保ちます。

ブース内の運営

限られた最小限のスタッフでブース内の安全確保を行います。

動線計画

入口、出口を限定しブース内の滞在人数を管理します。ブース内のソーシャルディスタンスを保つため、ONEWAY等の動線を計画します。

WEBによるフォロー

展示会のために構築したプロモーション資産を2次利用・3次利用し、商談成約率の向上につなげます。

ブース内への誘引と入場者管理 ブース内の来場者の人数管理等を行いソーシャルディスタンスを保ちます。

事前

01

WEBでブース訪問時間を予約



事前に、訪問日、訪問時間（1日を3つのブロックに区切る等）を指定し予約。ブース内の混雑を緩和します。

事前

02

DMやウェビナー等でブース内容を事前公開

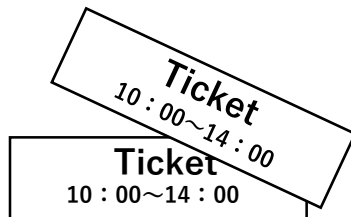


事前に情報を公開。基本情報を来場者にインプット。ブースの滞在時間をコンパクトに、接触の機会を軽減します。

当日

03

当日券・整理券の発行

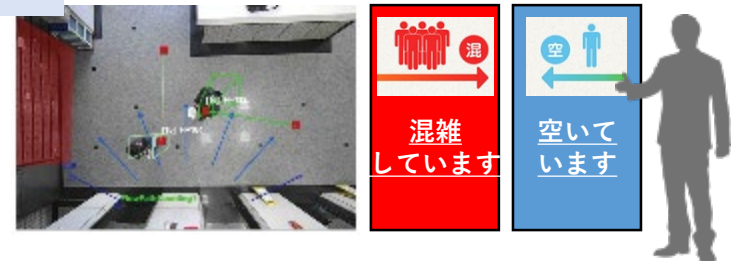


混雑時には、時間指定の当日チケットを配布し再訪を案内。ブース内の来場者数をコントロールし、混雑を軽減します。

当日

04

ブース内の混雑状況を計測・表示



カメラでブース内の来場者数をカウント、混雑状況を把握。モニターにて表示。注意喚起を行い、閑散時間をアナウンスします。

ブース内への誘引と入場者管理

主催者側が対策を講じる場合も考えられますが、ブース出入口においても必要に応じて安全確保につながる対策を行います。

当日

05

消毒



当日

06

マスク・フェイスシールドの配布



当日

07

検温

顔と体温を同時に検知！



非接触体温計



体温検知カメラ

当日

08

ソーシャルディスタンスを守った入口

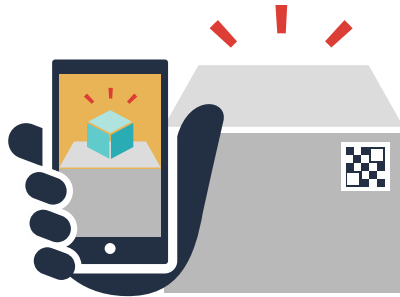


製品展示 ソーシャルディスタンスを保ちながら、触れずに体感する製品展示。

当日+後日

01

ARによる製品展示



製品に直接触れない、ARによるバーチャル展示。

当日

02

非接触で、360° から展示物を見る



浮遊装置による展示

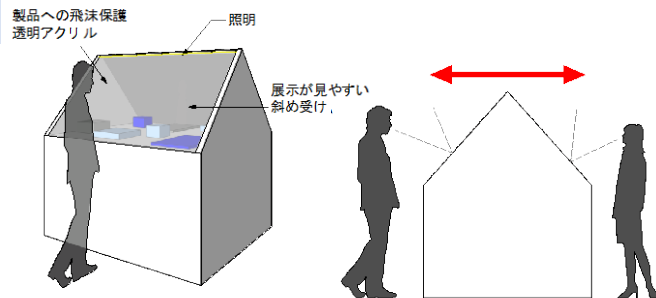
ターンテーブルを使った展示

ターンテーブルや浮遊装置を使い、手を触れずに全方向の展示品を確認できます。

当日

03

対面式什器

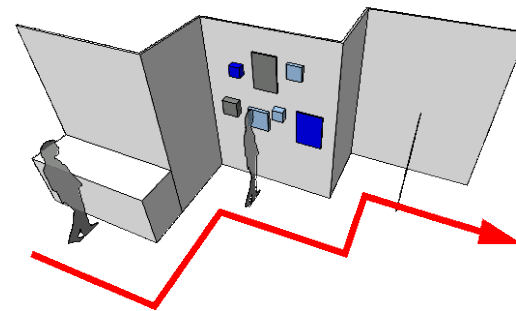


ソーシャルディスタンスを守りながらも、同じ製品を両面で展示できる対面式什器です。

当日

04

蛇腹状に配置した展示



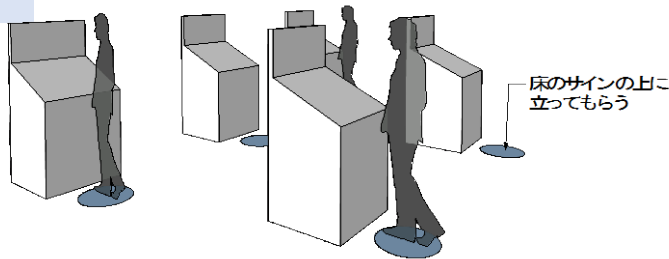
折り返す構造で展示スペースの空間の区分けと順番を可視化し、展示動線を構成します。

製品展示 ソーシャルディスタンスを保ちながら、触れずに体感する製品展示。

当日

05

一定方向型展示

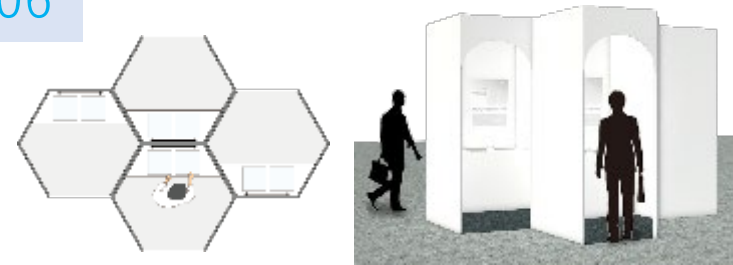


一定の方向へ傾けた什器で来場者の立つ位置を制限する。また床に立ち位置のサインをつけて隣との距離を保ちます。

当日

06

ユニット型製品展示

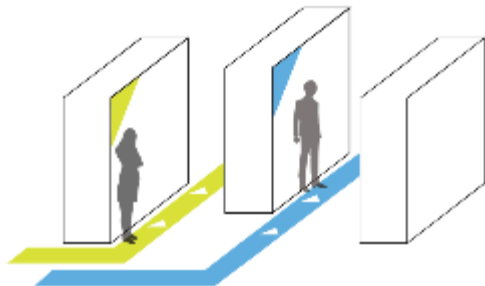


飛沫対策として製品ごとに六角形の展示ユニットを構成し、ユニットの組み合わせによってブースをデザインします。

当日

07

ルート展示による来場者コントロール

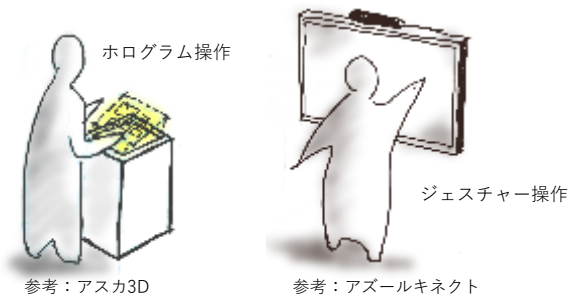


複数の展示ルートを設定し、混み具合により来場者をコントロールします。床には展示ルートを表示します。

当日

08

触れずに操作するサイネージ



ジェスチャーや、ホログラムに浮かんだボタンを押すことでサイネージの情報を操作し、閲覧します。

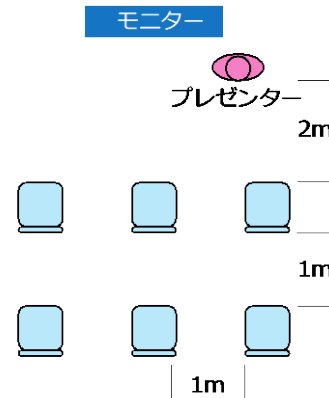
プレゼンテーション ソーシャルディスタンスを保ちながら、製品を深く理解できるプレゼンテーション手法。

当日
01

■プレゼンテーションエリアのソーシャルディスタンスを確保

「プレゼンターと来場者の距離」「来場者同士の距離」においてソーシャルディスタンスを確保し、プレゼンテーションを実施します。

【着席パターン】



【立席パターン】



当日
02

透過モニターを利用した飛沫防止



MCとの間の飛沫防止アクリル板または透過モニターを利用し、飛散防止を実現させます。

当日
03

バーチャルナレーターによるプレゼン



映像やCGによるナレーターでのプレゼンテーション。リアリティを持たせながら非接触のプレゼンを行います。

プレゼンテーション ソーシャルディスタンスを保ちながら、製品を深く理解できるプレゼンテーション手法。

当日+後日

ブース内での講演会・セミナー配信

04



出展ブースでのプレゼンテーションを配信。お持ちの端末で離れた場所から視聴していただけます。後日配信されるコンテンツとしても利用可能。

後日

WEBセミナーの開催

05



ブース内での3密を避けるため、出展ブースでWEBセミナーの告知を実施。後日、オンラインでご参加頂きます。

当日

ロボットによる遠隔プレゼン

06



参考：Pepperロボットアプリ

出展者はスマホやタブレットPCのでロボアプリを利用し、遠隔操作でロボットによる非接触のプレゼンを行います。

当日+後日

セミナーのライブ配信

07




パーティションを設けたスタジオブースにてセミナーや対話等を展開。Youtubeやラジオ配信など場所を問わずに視聴できるコンテンツです。

商談スペース ソーシャルディスタンスを保ちながら、今まで以上にお客様との関係性を築ける商談スペース。

当日
01

座席レイアウトの工夫



[向かい合わせの配慮] [交互に座る配慮]

座席配置とパーティションの工夫で接触しにくいレイアウト。合わせて空気清浄機の設置など設備も整えます。

当日
02

モニターを介したリモート商談



通話形式で担当者と商談を進めます。別の場所からの商談や遠隔からの商談が可能です。端末入力によりデータ管理が容易。

当日
03


チャットシステム



ブース内でサイトにアクセスするとチャットルームに入ることができ、リアルタイムで担当者との会話が可能です。

当日+後日
04

後日リモートアテンド



ブース内でアポイントメントをとり、後日商談の機会を設定する。リモートアテンド後も情報発信をするパイプを作ることができます。

ブース内の運営 出展者、来場者共に安全な環境で運営を行うための施策。

当日
01

ブース内ライブ中継




予約制で出展ブースを回遊する中継。来場者はリモートでブース内をめぐり、スタッフとコミュニケーションをとることが可能です。

当日
02

ロボットを駆使した無人受付・アテンド


オペレーター



ブース内は無人でロボットを配置し、会話を行うことで受付や商談等のアテンドを行います。実際には別の場所のオペレーターが会話。

当日
03

パーソナル セーフティ



アルミ線フレーム
フィルター付き小型ファン
フィルター付き小型ファン
フェイスガード用換気ファン

マスクの密着防止・呼吸状態改善

ブーススタッフは安全性の高い防護装備を着用してアテンドします。

当日+後日
04

非接触を意識した運営

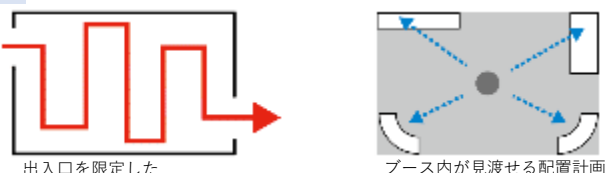


スマホを使ったオンラインの名刺交換や、QRコードの活用した触れない電子媒体を利用し、ノベルティやカタログの郵送なども行います。

ブース内の運営 出展者、来場者共に安全な環境で運営を行うための施策。

当日
05

ブース内スタッフ数を減らす工夫



出入口を限定した ONE WAYのレイアウト

ブース内が見渡せる配置計画

ブース内での人の行き来を制限し、最小人数のスタッフで運営できるブース内動線やゾーニング計画を行うことで、来場者、スタッフの感染リスクを最小限に抑えます。

当日
06

抗菌仕様アイテムの利用



どうしても手の触れる部分には、抗菌仕様のアイテムやマテリアルを利用し、こまめに除菌を行います。

当日
07

ブース内コンシェルジュ



来場者が聞きたい時に聞けるインフォメーションカウンター。スタッフとの関わり(距離)を来場者が選べる運営を行います。

当日
08

ソーシャルディスタンスを守るサイン計画



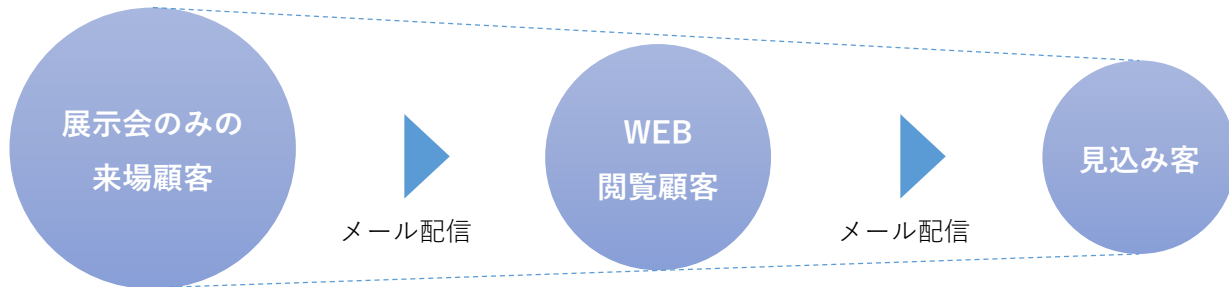
入口、展示コーナー、セミナー、商談等でのソーシャルディスタンスを実現します。

WEBによるフォロー 展示会ために構築したプロモーション資産を再活用し、商談成約率の向上につなげます。

事前+後日

01

■リアル空間での展示会終了後に、WEB配信など様々なデジタルコンテンツを稼働することで見込み顧客の発掘を行い、次回展示会の商談成功率の向上へとつなげます。



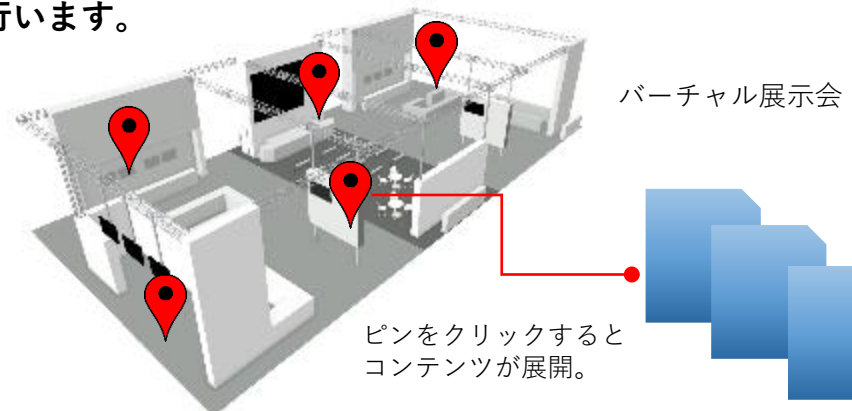
獲得したメールアドレスは次の展示会へと活用

02

■展示ブース内で開催したセミナー、プレゼンテーションを記録しWEB上でバーチャル展示会等でのコンテンツ展開を行います。

コンテンツの活用例

- ・ウェビナー配信
- ・映像配信
- ・NEWS配信
- ・ダウンロードコンテンツ配信

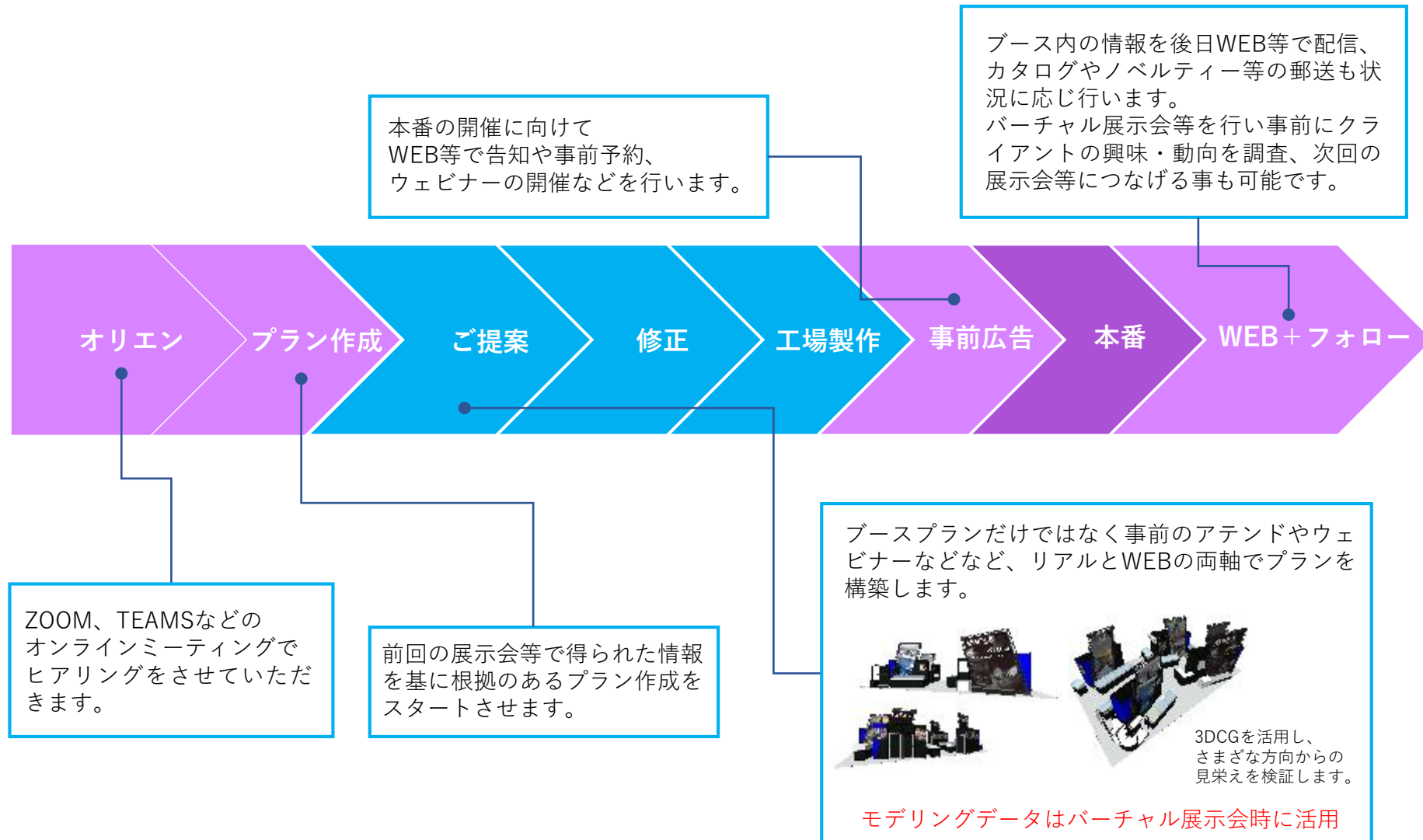


バーチャル展示会

ピンをクリックすると
コンテンツが展開。

出展までの推進フロー

オンラインをベースとしたお打合せでもイメージしやすいように3Dを活用した 確認資料を作成。



会社概要

社名 : 株式会社フジヤ (Fujiya Co.,Ltd.)
代表者 : 代表取締役社長 永田 智之
創業 : 1928(昭和3)年 3月
資本金 : 9,500万円
社員数 : 343人 (2021年5月現在)
営業拠点 : 全国16ヶ所
URL : <https://www.fujiya-net.co.jp/>



お問い合わせ

本資料に関するお問合せはこちらまで

ご相談窓口

E-mail : jigyotokatu@fujiya-net.co.jp